

## シラバス

平成 30 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・1年	授業方法	講義、演習	講義時期	通年
授業科目	コンピュータ概論I	担当者	伊禮利一、他	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	コンピュータのハード技術やソフト技術に関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本情報処理試験の内容が理解できる</li> <li>目的に応じてコンピュータの活用ができる</li> </ul>				
授業計画	総授業時間数 263時間 授業回数 263回 1回授業 50分				授業時間数
	1	【コンピュータ概論:1章】コンピュータの基礎知識			6
	2	【2章】数値の表現(基数変換・補数・固定、浮動小数点表現・シフトなど)			16
	3	【3章】コンピュータ構成要素(プロセッサ・論理演算と回路・メモリ・入出力装置)			8
	4	【4章】基礎理論(応用数学・情報に関する理論)			4
	5	【5章】ソフトウェア(OSとミドルウェア・ファイルシステム)			4
	6	【6章】システム構成要素(システムの構成、評価指標)			4
	7	【7章】マルチメディア(マルチメディア技術・応用)			2
	8	【8章】ネットワーク(LAN・インターネット・伝送制御・ネットワーク応用)			8
	9	【9章】データベース(方式・データ操作とSQL・トランザクション処理)			6
	10	【システム開発と情報化:1章】開発技術(ヒューマンインターフェース設計・開発手法・要件定義技法・オブジェクト指向とUML・モジュール分割と設計・プログラミング・テスト手法・結合・受入れ・保守・構成管理・変更管理)			18
	11	【2章】プログラム言語と開発ツール(プログラム言語・開発ツール・構造)			4
	12	【3章】セキュリティ(情報セキュリティ・暗号化と認証)			6
	13	【4章】プロジェクトマネジメント(プロジェクト日程計画・プロジェクトマネジメント)			4
	14	【5章】サービスマネジメント(サービスマネジメント・システム監査)			4
	15	【6章】システム戦略(システム戦略・システム企画)			4
	16	【7章】経営戦略(経営・技術戦略マネジメント・ビジネスインダストリ)			6
	17	【8章】企業と法務(経営・OR・IE・品質管理・会計・財務・法務・標準化)			8
	18	サーティファイ情報処理技術者試験3級検定対策(試験時間・解説含む)			35
	19	サーティファイ情報処理技術者試験2級1部検定対策(試験時間・解説含む)			35
	20	サーティファイ情報処理技術者試験2級2部検定対策(試験時間・解説含む)			45
	21	IPA主催 午前免除試験対策(試験時間・解説含む)			36
	22				
	23				
	合計時間数				263
教科書	コンピュータ概論概論(ウイネット) システム開発と情報化(ウイネット)、情報処理検定問題集(3級・2級)				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題や演習問題				
成績評価 方法	授業態度20pt、単元テスト20pt、期末テスト20pt、検定試験得点40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

平成 30 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・1年	授業方法	講義、演習	講義時期	通年
授業科目	プログラム設計	担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	プログラムによってコンピュータ処理の流れを記述できるように、基本的なデータ処理のためのアルゴリズムを学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流れ図の基本パターン、繰り返し処理、整数の計算、探索処理、整列処理を理解できる。</li> <li>・疑似言語に処理の流れを理解でき、トレースできる。</li> <li>・ファイル処理、文字列操作、ビット操作の処理が理解できる。</li> </ul>				
授業計画	総授業時間数 97時間 授業回数 97回 1回授業 50分				授業時間数
	1	第1章 アルゴリズム流れ図	流れ図の記号	練習問題	2
	2	第2章 流れ図の基本パターン	領域の概念	流れ図のパターン化	2
	3		基本パターンの使い方	練習問題	4
	4	第4章 繰り返し処理	不定回数の繰り返し	一定回数の繰り返し ループ端記号	5
	5		特殊な処理	2度読み処理 練習問題	5
	6	演習	スフィア体験	レゴロボ体験	4
	7	第5章 整数の計算	合計平均	べき乗計算 乗算除算 最大最小抽出 練習問題	5
	8	第6章 配列操作	1次元配列	配列の異動 2次元配列 練習問題	5
	9	第9章 探索処理	探索処理とは	線形探索 線形探索 ブロック探索	6
	10		2分探索	ハッシュ探索 練習問題	6
	11	第3章 データ構造	データ構造の概要	配列 リスト	4
	12		スタックとキュー	木構造 練習問題	4
	13	練習問題	サーティファイ2級1部レベル	問題使用	2
	14	第10章 整列処理	整列処理とは	基本選択法 基本交換法 基本挿入法	5
	15		その他の整列方法	練習問題	4
	16	第7章 疑似言語と基本パターン	記述形式と基本パターン	基本パターンの使い方 練習問題	4
	17	第8章 疑似言語によるデータ構造	疑似言語による配列操作	疑似言語によるリストの操作	4
	18		スタック、キューの操作	木構造の操作 練習問題	2
	19	練習問題	サーティファイ2級2部レベル	問題使用	6
	20	第11章 ファイル処理	ファイル処理	練習問題	3
	21	第12章 文字列操作	文字列操作の意義	文字と文字列の基本知識	3
	22		基本的な文字列操作	練習問題	3
	23	練習問題	サーティファイ2級2部レベル	問題使用	6
	24	第13章 ビット操作	ビット操作によるデータ処理	練習問題	2
	25	期末テスト			1
	合計時間数			97	
教科書	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造(ウィネット)				
時間外学習	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30分程度				
成績評価 方法	授業態度20pt、単元テスト20pt、期末テスト20pt、検定試験得点40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

平成 30 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・1年	授業方法	講義、実習	講義時期	通年
授業科目	プログラミング言語 I	担当者	與儀 和智	科目必修区分	必修
授業概要	C言語のプログラミング技術について、基本的な文法から、アルゴリズムや構造化プログラミングを学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーティファイ主催C言語プログラミング能力認定試験3級が取得できる。</li> <li>・簡単なソースコードを読むことができる。</li> <li>・基本的なプログラミングスキルが身につくので、簡易プログラムが作成できる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション(授業の概要説明(進捗・評価など)、実習環境の設定と動作確認)			2
	2	C言語プログラミングの初歩(プログラムの書き方、実行方法)			2
	3	標準出力、文字と数値			4
	4	変数と型(識別子、変数の宣言)、標準入力			4
	5	式と演算子(演算子の種類、演算子の優先順位、型変換)			4
	6	中間試験			2
	7	条件分岐(関係演算子、if文、switch文、論理演算子、演習)			6
	8	繰り返し(for文、while文、do-while文、文のネスト、処理の流れの変更、演習)			10
	9	配列(配列の基本、マクロ、文字列と配列、多次元配列、演習)			10
	10	総合演習(基本文法を用いたプログラム作成、データの並べ替え)			10
	11	関数(関数の定義、プロトタイプ宣言、グローバル変数・ローカル変数、演習)			8
	12	前期 期末試験			2
	13	検定対策(C言語検定3級対策、模擬試験の実施、解説)			30
	14	ポインタ(アドレス、ポインタの基本、関数に引き渡す方法)			4
	15	配列とポインタの応用1(配列のアドレス、ポインタ演算、引数と配列、演習)			8
	16	配列とポインタの応用2(文字列とポインタ、動的メモリ確保、簡易演習)			8
	17	中間試験			2
	18	構造体(構造体の記述、構造体の応用)			2
	19	ファイル入出力(ストリーム、ファイルのオープンクローズ、ファイルからの入力・出力)			6
	20	総合演習(ファイルの入出力、探索アルゴリズムを使ったプログラム作成)			16
	21	検定対策(C言語検定2級対策、模擬試験の実施、解説)			31
	22	後期 期末試験			2
	23				
	24				
	合計時間数				173
教科書	やさしいC 第5版 (SBクリエイティブ(株))				
時間外学習	時間内に完成できなかった課題の実装・提出				
成績評価方法	単元テスト30pt、期末テスト70pt				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	IT業界 (プログラマ歴 含む) 2年				

## シラバス

平成 30 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・1年	授業方法	実習、講義	講義時期	通年
授業科目	パソコン実習	担当者	山本 千穂	科目必修区分	必修
授業概要	表計算ソフトを使用してパソコン全般の利用方法について実習を通して学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>Excelを使用して基本操作や簡単な関数が利用できる</li> <li>文字列操作関数やレイアウト図の作成など表計算以外の利用方法を知る</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第1章 Excelの基本操作(Lesson 1～Lesson 13)			4
	2	Excelの起動と終了、Excelの画面構成			
	3	データの入力と修正、オートフィル機能、移動とコピー			
	4	復習問題1			2
	5	第2章 表作成の基礎(Lesson 14～Lesson 19)			4
	6	連続データを知る、表データの作成、四則演算の数式、合計の計算			6
	7	復習問題2			
	8	第3章 表の編集(Lesson 20～Lesson 26)			
	9	表示形式の変更、データの配置の変更			8
	10	列の幅と行の高さの調整、罫線の設定、セルの色			
	11	行や列の挿入と削除			
	12	復習問題3			2
	13	第4章 セル参照と関数(Lesson 27～Lesson 37)			8
	14	相対参照と絶対参照			
	15	AVERAGE関数、MAX関数・MIN関数、COUNT関数			
	16	IF関数、TODAY関数			
	17	復習問題4			2
	18	第5章 グラフ作成(Lesson 38～Lesson 40)			4
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	合計時間数				34
教科書	Excel2016クイックマスター<基本編> Excel表計算処理技能認定試験3級 問題集				
時間外学習	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30分程度				
成績評価方法	単元テスト30pt、期末テスト70pt				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	IT業界 (プログラマ歴 含む) 10年				

## シラバス

平成 30 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・1年	授業方法	演習・講義	講義時期	通年
授業科目	ビジネスマナー	担当者	藤吉 綾子	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	第一印象の重要性を理解し、好感の持てる話し方を身につける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相第一印象の重要性を理解できる</li> <li>・時間管理ができる(集合時間、提出物の期限を守る)</li> <li>・立場の違いを考えた言葉遣いができる</li> </ul>				
授業計画	総授業時間数 16時間 授業回数 16回 1回授業 50分				授業時間数
	1	ビジネスマナーとは(社会人として求められる資質、あいさつ・身だしなみの重要性)			2
	2	第一印象の重要性(立つ姿勢、お辞儀の仕方、語先後礼、表情訓練、発声練習)			2
	3	話の仕方、聞き方のポイントと注意点(クッション言葉、前向きな会話)			1
	4	言葉遣い(敬語の種類と使い分け)			4
	5	自己PR文の作成(400字程度)			2
	6	グループ面接時の入退室・自己紹介・質疑応答			5
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	合計時間数				16
教科書	実践ビジネスマナー(ウイネット)				
時間外学習	表情訓練、発声練習				
成績評価 方法	授業態度(30pt)、提出物(35pt)、期末テスト(35pt)				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家	②. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

平成 30 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・1年	授業方法	実習・講義	講義時期	通年
授業科目	プログラミング言語Ⅱ	担当者	興儀 和智	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法から、オブジェクト指向プログラミングを理解し、実習では練習問題を通してプログラミングスキルを身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なソースコードを読むことができる。</li> <li>・基本的なプログラミングスキルが身につくので、簡易プログラムが作成できる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
1	Lesson1 はじめの一步 ・Javaのプログラム ・コードの入力 ・プログラムの作成 など				6
2	Lesson2 Javaの基本 ・画面への出力 ・コードの内容 ・文字と数値 など				6
3	Lesson3 変数 ・変数 ・識別子 ・型 ・変数の宣言 ・変数の利用 など				6
4	Lesson4 式と演算子 ・式と演算子 ・演算子の種類 ・演算子の優先順位 ・型変換 など				6
5	Lesson5 場合に応じた処理 ・関係演算子と条件 ・if文 ・if~else文 ・switch文 ・論理演算子 など				6
6	Lesson6 何度も繰り返す ・for文 ・while文 ・do~while文 ・文のネスト ・処理の流れの変更 など				8
7	Lesson7 配列 ・配列 ・配列の準備 ・配列の利用 ・配列の記述のしかた ・配列変数 など				8
8	Lesson8 クラスの基本 ・クラスの宣言 ・オブジェクトの作成 ・クラスの利用 ・メソッドの基本 など				8
9	Lesson9 クラスの機能 ・メンバへのアクセスの制限 ・メソッドのオーバーロード ・コンストラクタの基本 など				8
10	Lesson10 クラスの利用 ・クラスライブラリ ・文字列を扱うクラス ・そのほかのクラス ・クラス型の変数 など				8
11	【プリント】 列挙型 & Java3級検定対策				25
12					
13					
14					
15					
16					
	合計時間数				95
教科書	やさしいJava 第7版 (SB Creative) プリント 列挙型(やさしく学ぶJavaプログラマ 翔泳社)				
時間外学習	時間内に完成できなかった課題の実装・提出				
成績評価方法	授業態度20pt、単元テスト20pt、期末テスト20pt、検定試験得点40pt				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	IT業界 (プログラマ歴 含む) 2年				

## シラバス

平成 30 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・1年	授業方法	演習、講義	講義時期	通年
授業科目	情報処理演習	担当者	大城 政邦、他	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	国家試験である情報処理技術者試験の模擬問題の演習を元に各分野の専門知識・技術を身につける。				
到達目標	国家試験である情報処理技術者試験の模擬問題を解くことができる。				
授業計画	総授業時間数 173時間 授業回数 173回 1回授業 50分				授業時間数
	1	10月(秋期対策)試験①			6
	2	10月(秋期対策)試験解説			12
	3	10月(秋期対策)試験②			6
	4	10月(秋期対策)試験解説			12
	5	10月(秋期対策)試験③			6
	6	10月(秋期対策)試験解説			12
	7	10月(秋期対策)試験④			6
	8	10月(秋期対策)試験解説			12
	9	10月(秋期対策)試験⑤			6
	10	10月(秋期対策)試験解説			12
	11	10月(秋期対策)試験⑥			6
	12	10月(秋期対策)まとめ			9
	13	次年度4月(春期対策)試験①			6
	14	次年度4月(春期対策)試験解説			12
	15	次年度4月(春期対策)試験②			6
	16	次年度4月(春期対策)試験解説			12
	17	次年度4月(春期対策)試験③			6
	18	次年度4月(春期対策)試験解説			10
	19	次年度4月(春期対策)試験④			6
	20	次年度4月(春期対策)試験解説			10
	21				
	22				
	23				
	合計時間数				173
教科書	過去問題、模擬試験(ウイネット・TAC・アイテック)				
時間外学習	試験学習サイトの活用				
成績評価 方法	授業態度20pt、単元テスト20pt、期末テスト20pt、検定試験得点40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家		2. 教員		備考
実務経験紹介	—				

## シラバス

平成 30 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・1年	授業方法	演習、講義	講義時期	後期
授業科目	就職実務	担当者	大城 政邦	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	社会人にとって基本的な素養を学習し、就職活動の具体的な進め方を知る				
到達目標	1. 自己分析を行い、自身の目標とする業界を理解する。 2. 自己分析を行い、自身のPRができる。				
授業計画	総授業時間数 47時間 授業回数 47回 1回授業 50分				授業時間数
	1	就職活動の基礎を整える(身だしなみ、社会人としての心構え)			4
	2	就職活動の基礎を整える(履歴書の準備)			4
	3	就職活動の基礎を整える(業界研究)			4
	4	就職活動の基礎を整える(自己分析)			4
	5	面接の流れロールプレイング①			4
	6	面接の流れロールプレイング②			4
	7	面接の流れロールプレイング③			4
	8	面接の流れロールプレイング④			4
	9	KBC学園センスアップセミナー(学園合同模擬面接会)			6
	10	就職活動の基礎を整える(企業研究)			9
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	合計時間数				47
教科書	就職活動の進め方(KBC学園)				
時間外学習	授業の復習、提出課題作成、企業研究や自己分析は日ごろから意識してください。				
成績評価 方法	授業態度20pt レポート提出30pt 模擬面接会結果50pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				



## シラバス

平成 30 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・1年	授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	就職リテラシー(SPI)	担当者	山川 こゆき	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	就職試験における代表的な試験であるSPI、CAB、GABについて対策を行い就職試験合格を目的とする。				
到達目標	SPI・CAB・GAB試験の内容を理解し、解答ができる。				
授業計画	総授業時間数 12時間 授業回数 12回 1回授業 50分				授業時間数
	1	非言語問題:速さ、割合・比、代金の精算			2
	2	言語問題:二語言語、熟語の意味、熟語の成り立ち			2
	3	言語問題:語句の用法、文の並び替え、空欄補充、長文読解			2
	4	性格検査説明:パスファインダー			1
	5	過去問対策(ユーキャン書籍)			4
	6	期末テスト			1
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	合計時間数				12
教科書	これが本当のSPI3だ、CAB・GAB完全突破法 SPI問題集図解&書き込み式、ユーキャン過去問集				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題や演習問題				
成績評価 方法	授業態度20pt、単元テスト20pt、期末テスト60pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

平成 30 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・1年	授業方法	演習、講義	講義時期	通年
授業科目	総合学習	担当者	山川こゆき、他	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。				
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。				
授業計画	総授業時間数 137時間 授業回数 137 回 1回授業 50分				授業時間数
	1	【入学オリエンテーション】 目標設定、手引きの読み合わせ、講話、リレーションなど			39
	2	【親睦会】 全学生の全体スポーツ大会			6
	3	【ビーチパーティ】 全学生のビーチパーティ			6
	4	【献血】 沖縄赤十字血液センターの方を招いての講話と献血			4
	5	【性教育】 助産師の方を招いての講話			2
	6	【国家試験合格者発表会(春期・秋期)】 国家試験合格者を表彰する			4
	7	【学園祭】 学習成果発表の場として企画、運営から実施までの過程で社会人基礎力を体験する			42
	8	【新春スポーツ大会】 学科の全学年、合同スポーツ大会			6
	9	【卒業研究発表会・展示会】 卒業生が制作した研究発表会に参加し、展示会でシステムに触れてみる			10
	10	【卒業生送別会】 学科ごとの卒業生に感謝の気持ちを込めて、内外でイベントを実施する			6
	11	【ヒューマンスキル実習】 人間性を高めるエクササイズを実施する			12
	12				
	合計時間数			137	
教科書	KBC学園 志学 I・II				
時間外学習	各授業・行事においての事前準備や調べ学習を指示。前後の各実施委員会活動				
成績評価 方法	授業態度30pt、毎回の授業レポート70pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家		2. 教員		備考
実務経験紹介	—				

## シラバス

平成 30 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・1年	授業方法	実習、講義	講義時期	後期	
授業科目	プログラミング実習	担当者	上原 秀輝	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	実際にプログラミングを行っている企業の方から、基本的なシステム設計の手法を学び、簡単なプログラムを制作する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム開発の種類や流れの習得。</li> <li>・Androidアプリについて概要の習得と開発環境の構築ができる。</li> <li>・Androidアプリを作成する事ができる。</li> </ul>					
授業計画	総授業時間数	20時間	授業回数	20回	1回授業 50分	授業時間数
	1	システム開発とは				1
	2	システム開発手法				1
	3	システム開発の流れ				1
	4	Androidアプリ開発概要				4
	5	閏年測定アプリの制作				10
	6	最終評価				3
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	合計時間数				20	
教科書	自作テキスト					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題					
成績評価 方法	授業態度30pt、成果物70pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	①. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	<a href="https://www.kbc.ac.jp/disclosure/">https://www.kbc.ac.jp/disclosure/</a>					

## シラバス

平成 30 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・1年	授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	データベース言語	担当者	與儀 和智	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	データベースの基礎知識及び、言語について学習し、データベースを利用するための基本的な能力を身につける。				
到達目標	1. SQLを使えるようになる				
授業計画	総授業時間数 30時間 授業回数 30回 1回授業 50分				授業時間数
	1	オリエンテーション:環境の準備			1
	2	0章:OracleDB利用環境			3
	3	1章:リレーショナルDBとは			6
	4	2章:SELECT文			6
	5	3章:検索条件とソート(where句、order by 句)			6
	6	4章:単一行関数			6
	7	期末テスト			2
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	合計時間数				30
教科書	①オラクルマスター教科書 Oracle Database Bronze [11g SQL基礎 I ]編(翔泳社) ②各章対応のオリジナル実習課題、③Oracle Master SQL基礎I 対策用プリント(自作プリント)				
時間外学習	各章対応のオリジナル実習課題の実施				
成績評価 方法	授業態度20pt、単元テスト20pt、期末テスト60pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

平成 30 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・1年	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	志学 I	担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	キャリア教育の実現の鍵は専門能力および発揮できる力(人間性)であることを知り、永久戦力を目指す上での自己のあり方を考える。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を尊重した行動ができる</li> <li>・不快感を与えない身だしなみを整えられる</li> <li>・印象のよい挨拶ができる</li> <li>・感謝の気持ちを意識した行動がとれる</li> </ul>				
授業計画	総授業時間数 20時間 授業回数 20回 1回授業 50分				授業時間数
	1	序章:学習のねらいと目標			2
	2	第1章:感謝			2
	3	第2章:感動			2
	4	第3章:思いやり・気くばり			2
	5	第4章:明朗			2
	6	第5章:挨拶			2
	7	第6章:素直			2
	8	第7章:プラス思考			2
	9	第8章:チャレンジ精神			2
	10	第9章:永久戦力			2
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	合計時間数				20
教科書	KBC学園 志学 I・II				
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する				
成績評価 方法	授業態度30pt、毎回の授業レポート70pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

令和 1 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・2年	授業方法	実習・講義	講義時期	通年
授業科目	プログラミング言語Ⅱ	担当者	與儀 和智	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法から、オブジェクト指向プログラミングを理解し、実習では練習問題を通してプログラミングスキルを身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なソースコードを読むことができる。</li> <li>・基本的なプログラミングスキルが身につくので、簡易プログラムが作成できる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
1	Lesson11 新しいクラス ・継承 ・メンバへのアクセス ・オーバーライド ・Objectクラスの継承 など				12
2	Lesson12 インターフェイス ・抽象クラス ・インターフェイス ・クラスの階層 など				10
3	Lesson13 大きなプログラムの作成 ・ファイルの分割 ・パッケージの基本 ・パッケージの利用 ・インポート など				12
4	Lesson14 例外と入出力処理 ・例外の基本 ・例外とクラス ・例外の送出 ・入出力の基本 など				12
5	Lesson15 スレッド ・スレッドの基本 ・スレッドの操作 ・スレッドの作成方法 ・同期 など				12
6	【プリント】 コレクション、ジェネリクス				12
7	Java2級検定対策				37
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計時間数				107
教科書	やさしいJava 第7版 (SB Creative) プリント 列挙型、コレクション、ジェネリクス(やさしく学ぶJavaプログラマ 翔泳社)				
時間外学習	時間内に完成できなかった課題の実装・提出				
成績評価方法	授業態度20pt、単元テスト20pt、期末テスト20pt、検定試験得点40pt				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	IT業界 (プログラマ歴 含む) 2年				

## シラバス

令和 1 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・2年次	授業方法	実習、講義	講義時期	前期	
授業科目	Web制作実習	担当者	仲宗根 優美	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	HTMLについて、その構造、文法を学ぶ事で、これらの言語を用いた文書作成方について講義と実習により学習する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>HTML5、CSS3の基礎知識を身につけることができる。</li> <li>簡単なWebページを作成することができる。</li> <li>Webクリエイター能力認定試験(スタンダード)を取得することができる。</li> </ul>					
授業計画	総授業時間数	50時間	授業回数	50回	1回授業 50分	授業時間数
	1	Webの導入・環境設定				2
	2	簡単なWeb作成				3
	3	1章:webページの制作				1
	4	2章:HTMLの基礎知識				2
	5	3章:よく使う要素の設定				3
	6	4章:画像の表示とリンクの設定				2
	7	5章:内容の組み立てと正しいコードの記述				1
	8	6章:HTMLファイルの複製と編集				1
	9	7章:表の作成とビデオの表示				2
	10	8章:CSSの基礎知識				3
	11	9章:文字のスタイルの記述				2
	12	10章:背景やボーダーのスタイルの記述				2
	13	11章:見栄えを整えるスタイルの記述				2
	14	検定対策(問題集)				16
	15	課題:webページ作成				6
	16	webページプレゼン				2
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	合計時間数				50	
教科書	ゼロからわかる HTML&CSS 超入門 Webクリエイター能力認定試験スタンダード問題集					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題や演習問題、資格試験受験に向けた勉強					
成績評価 方法	授業態度20pt、単元テスト20pt、期末テスト20pt、検定試験得点40pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	—					

## シラバス

令和 1 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・2年	授業方法	実習、講義	講義時期	通年
授業科目	プレゼンテーション実習	担当者	山本 千穂	科目必修区分	必修
授業概要	業務で主に使用されているプレゼンテーションソフトの利用技術を習得し、資格取得を目指す。				
到達目標	1.サーティファイ主催「Microsoft PowerPointプレゼンテーション技能認定試験:初級」合格 2.聴衆の前でプレゼンテーションが行える 3.社会人予備軍としての課題に向かう態度、姿勢が身につく				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	プレゼンテーションとは(話し手から聞き手へわかりやすく伝える技術)			2
	2	パワーポイントの基本操作(利用する上で必要な画面操作などを習得する)			2
	3	プレゼンテーション資料作成(テキストの入力、スライドの追加)			4
	4	構成とデザインの設定(デザインの変更、配色の設定)			4
	5	表示効果とハイパーリンク(画面切替効果、アニメーション設定)			4
	6	スライドショーの実行、スライド番号の挿入			2
	7	画面表示モードの変更やプレゼンテーション資料印刷など			2
	8	文字の編集(文字書式や段落書式の設定)			2
	9	プレゼンテーションのテクニック(図形や画像、グラフの挿入)			8
	10	プレゼンテーションのテクニック(スライドマスタの使用法)			8
	11	プレゼンテーション実習(問題集:初級 練習問題 解答・解説)			15
	12	プレゼンテーションの実施(テーマ(自己紹介)に沿ったプレゼンを実施)			4
	13	プレゼンテーション技能認定試験対策・模擬試験			40
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	合計時間数				97
教科書	PowerPointプレゼンテーション技能認定試験 問題集 2013対応 (サーティファイ)				
時間外学習	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30分程度				
成績評価方法	授業態度(20pt)、確認テスト(40pt)、期末テストまたは検定試験(40pt)				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	IT業界 (プログラマ歴 含む) 10年				



## シラバス

令和 1 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・2年次	授業方法	実習、講義	講義時期	後期
授業科目	アプリケーション制作実践	担当者	赤嶺 達也	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	卒業を前に、在学中の知識・技術を使用した作品を制作する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究テーマに沿った技術の習得</li> <li>研究テーマの発表を通して、円滑に発表する事が出来る</li> </ul>				
授業計画	総授業時間数 115時間 授業回数 115回 1回授業 50分				授業時間数
	1	科目の概要説明、作品例紹介			1
	2	研究テーマの選択			4
	3	研究テーマについて理解を深める			16
	4	研究テーマに沿った開発及び発表準備			90
	5	発表会			4
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	合計時間数				115
教科書	概要説明プリント				
時間外学習	研究テーマについての自己学習				
成績評価 方法	授業態度30pt、成果物70pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

令和 1 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・2年次	授業方法	実習、講義	講義時期	後期	
授業科目	プログラミング実習	担当者	上原 秀輝	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	実際にプログラミングを行っている企業の方から、基本的なシステム設計の手法を学び、簡単なプログラムを制作する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム開発の種類や流れの習得。</li> <li>・Androidアプリについて概要の習得と開発環境の構築ができる。</li> <li>・Androidアプリを作成する事ができる。</li> </ul>					
授業計画	総授業時間数	30時間	授業回数	30回	1回授業 50分	授業時間数
	1	システム開発とは				1
	2	システム開発手法				1
	3	システム開発の流れ				1
	4	Androidアプリ開発概要				4
	5	BMI測定アプリの制作				10
	6	【課題】計算機アプリの作成				10
	7	最終評価				3
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	合計時間数					30
教科書	自作テキスト					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題					
成績評価 方法	授業態度30pt、成果物70pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	①. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	<a href="https://www.kbc.ac.jp/disclosure/">https://www.kbc.ac.jp/disclosure/</a>					

## シラバス

令和 1 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・2年次	授業方法	演習、講義	講義時期	通年
授業科目	就職実務	担当者	大城 政邦	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	社会の構造、企業の構造など、社会人にとって基本的な素養を学習し、就職活動の具体的な進め方について学習・演習する。				
到達目標	・希望する業界・企業向けの自己分析と面接での受け答えができる。				
授業計画	総授業時間数 82時間 授業回数 82回 1回授業 50分				授業時間数
	1	就職活動①(企業訪問・説明会へ参加)			10
	2	就職活動②(希望業界・企業研究)			18
	3	就職活動③(企業業界・企業向け自己分析)			24
	4	就職活動④(希望業界・企業向け模擬面接)			24
	5	活動履歴レポート作成			3
	6	内定先企業の企業説明会			3
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	合計時間数				82
教科書	就職活動の進め方(KBC学園) 専門学校生のための就職筆記試験対策問題集				
時間外学習	企業研究や自己分析は日ごろから意識してください。				
成績評価 方法	授業態度50pt レポート提出50pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

令和 1 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・2年次	授業方法	演習、講義	講義時期	通年
授業科目	情報処理演習	担当者	大城 政邦、他	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	国家試験である情報処理技術者試験の模擬問題の演習を元に各分野の専門知識・技術を身につける。				
到達目標	国家試験である情報処理技術者試験の模擬問題を解くことができる。				
授業計画	総授業時間数 189時間 授業回数 189回 1回授業 50分				授業時間数
	1	4月(春期対策)試験①			6
	2	4月(春期対策)試験解説			12
	3	4月(春期対策)試験②			6
	4	4月(春期対策)試験解説			12
	5	4月(春期対策)試験③			6
	6	4月(春期対策)試験解説			12
	7	4月(春期対策)試験④			6
	8	4月(春期対策)試験解説			12
	9	4月(春期対策)まとめ			6
	10	10月(秋期対策)試験①			6
	11	10月(秋期対策)試験解説			12
	12	10月(秋期対策)試験②			6
	13	10月(秋期対策)試験解説			12
	14	10月(秋期対策)試験③			6
	15	10月(秋期対策)試験解説			12
	16	10月(秋期対策)試験④			6
	17	10月(秋期対策)試験解説			12
	18	10月(秋期対策)試験⑤			6
	19	10月(秋期対策)試験解説			12
	20	10月(秋期対策)試験⑥			6
	21	10月(秋期対策)まとめ			15
	22				
	23				
	24				
	25				
	合計時間数				189
教科書	過去問題、模擬試験(ウイネット・TAC・アイテック)				
時間外学習	試験学習サイトの活用				
成績評価 方法	授業態度20pt、単元テスト20pt、期末テスト20pt、検定試験得点40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

令和 1 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・2年次	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	データベース言語	担当者	與儀 和智	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	データベースの基礎知識及び、言語について学習し、データベースを利用するための基本的な能力を身につける。				
到達目標	1. SQLを使えるようになる 2. Oracle Master SQL基礎 I の試験に合格する 3. 情報処理技術者試験のSQLの問題が解けるようになる				
授業計画	総授業時間数 110時間 授業回数 110回 1回授業 50分				授業時間数
	1	第5章 変換関数と条件式の使用法			6
	2	第6章 グループ関数を使用した集計データのレポート			6
	3	第7章 複数の表からのデータの表示			6
	4	第8章 副問合せを使用した問合せの解決			6
	5	第9章 集合演算子の使用			6
	6	第10章 データの操作			10
	7	第11章 表の作成と管理			8
	8	第12章 表以外のスキーマオブジェクト作成と管理			8
	9	テキスト 補講(2) データディクショナリビューによるオブジェクトの管理			8
	10	第13章 高度な副問合せ			8
	11	テキスト 補講(1) Oracle独自構文を使用した結合			8
	12	試験対策 模擬試験1~4			25
	13	Oracle Master SQL基礎 I 受験予備			5
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	合計時間数				110
教科書	①オラクルマスター教科書 Oracle Database Bronze [11g SQL基礎 I ]編(翔泳社) ②各章対応のオリジナル実習課題、③Oracle Master SQL基礎I 対策用プリント(自作プリント)				
時間外学習	各章対応のオリジナル実習課題の実施				
成績評価 方法	授業態度20pt、単元テスト20pt、期末テスト60pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

令和 1 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・2年次	授業方法	演習、講義	講義時期	通年
授業科目	文章読解応用	担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	新聞などを活用し、文章を読み解き、意見を述べる演習を実施する。				
到達目標	新聞記事を効率よく読み解くことができる。 記事に自身の考えを加えたスクラップブックを作成できる。				
授業計画	総授業時間数 22時間 授業回数 22回 1回授業 50分				授業時間数
	1	新聞の読み方			2
	2	記事検索・課題作成①			2
	3	記事検索・課題作成②			2
	4	記事内容ディスカッション・発表資料作成			4
	5	グループ発表			2
	6	記事検索・課題作成③			2
	7	記事検索・課題作成④			2
	8	記事内容ディスカッション・発表資料作成			4
	9	グループ発表			2
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	合計時間数				22
教科書	日経流通新聞(MJ) 電子版				
時間外学習	授業外でも電子版を使用して情報収集して下さい。				
成績評価 方法	授業態度20pt 毎回の提出課題60pt グループ発表20pt				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

令和 1 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・2年次	授業方法	演習、講義	講義時期	前期
授業科目	コンピュータ概論Ⅱ	担当者	伊禮利一、他	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	コンピュータのハード技術やソフト技術に関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本情報処理試験の内容が理解できる</li> <li>目的に応じてコンピュータの活用ができる</li> </ul>				
授業計画	総授業時間数 15時間 授業回数 15回 1回授業 50分				授業時間数
	1	IPA主催 午前免除試験対策(試験時間・解説含む)			15
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	合計時間数				15
教科書	コンピュータ概論概論(ウィネット) システム開発と情報化(ウィネット)、情報処理検定問題集(3級・2級)				
時間外学習	なし				
成績評価 方法	授業態度20pt、単元テスト20pt、期末テスト20pt、検定試験得点40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

令和 1 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・2年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	志学Ⅱ	担当者	與那覇 康哲	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	やりがいを持てる社会人生活を送る為に社会との繋がりの中で自分自身の生きる姿勢を探求し、各ロールモデルの中から自身の「志」を具体化させていく事を目指します。				
到達目標	志高く生きた人々に学び、能動的に行動するために考える力、伝える力を磨き、自身の働き方、社会人としてのあり方を整理し自身の「志」(目標)を立てる。				
授業計画	総授業時間数 22時間 授業回数 22回 1回授業 50分				授業時間数
	1	志学Ⅱ 序章			2
	2	志学Ⅱ 第1章 志とは			2
	3	志学Ⅱ 第2章 「志」高く生きた人に学ぶ			4
	4	志学Ⅱ 第3章 感化力(よい影響を受ける力)			4
	5	志学Ⅱ 第4章 考える力(「知行合一」を高める力)			4
	6	志学Ⅱ 第5章 伝える力(想いを言葉に変える力)			2
	7	志学Ⅱ 第6章 私の「志」			4
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	合計時間数				22
教科書	志学Ⅰ・Ⅱ (KBC学園オリジナルテキスト)				
時間外学習	「私のロールモデル」プレゼンテーション資料作成(100分)				
成績評価 方法	授業態度30pt、毎回の授業レポート70pt				
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備考		
実務経験紹介	—				



## シラバス

令和 1 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・2年	授業方法	演習、講義	講義時期	通年
授業科目	総合学習	担当者	大城 政邦、他	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。				
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。				
授業計画	総授業時間数 103時間 授業回数 103 回 1回授業 50分				授業時間数
	1	【オリエンテーション】 目標設定、年間スケジュールの確認、始業日・終業日の伝達など			8
	2	【親睦会】 全学生の全体スポーツ大会			6
	3	【ビーチパーティ】 全学生のビーチパーティ			6
	4	【献血】 沖縄赤十字血液センターの方を招いての献血			2
	5	【ヒューマンスキル実習】 人間性を高めるエクササイズを実施する			17
	6	【学園祭】 学習成果発表の場として企画、運営から実施までの過程で社会人基礎力を体験する			42
	7	【新春スポーツ大会】 学科の全学年、合同スポーツ大会			6
	8	【作品発表会・展示会】 卒業生が制作した作品発表会に参加し、展示会でシステムに触れてみる。			10
	9	【卒業生送別会】 学科ごとの卒業生に感謝の気持ちを込めて、内外でイベントを実施する			6
	10				
	11				
	12				
	13				
	合計時間数				103
教科書	KBC学園 志学 I・II				
時間外学習	各授業・行事においての事前準備や調べ学習を指示。前後の各実施委員会活動				
成績評価 方法	授業態度30pt、毎回の授業レポート70pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

令和 2 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・3年	授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	Security+	担当者	山川明美	科目必修区分	必修
授業概要	・講義と問題演習により、コンプティア試験に合格するための基礎力を養う。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概念を理解する。</li> <li>・章末問題を解けるようになる。</li> <li>・コンプティア試験をうけるための基礎力を養う。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	1-1セキュリティの考え方、確認問題			3
	2	1-2脅威の変遷、確認問題、章末問題			3
	3	2-1暗号化、確認問題			3
	4	2-2暗号化の種類、確認問題			3
	5	2-3PKI、確認問題			3
	6	2-4公開鍵証明書、確認問題、章末問題			3
	7	3-1認証、確認問題			3
	8	3-2認証方式、確認問題			3
	9	3-3アクセス制御、確認問題			3
	10	3-2認証方式、確認問題			3
	11	3-3アクセス制御、確認問題、章末問題			3
	12	4-1セキュリティに関連するネットワーク機器、確認問題			3
	13	4-2プロトコル、確認問題、章末問題			4
	14	5-1クライアントに対する脅威、確認問題			4
	15	5-2サーバーに対する脅威、確認問題			3
	16	5-3クライアント/サーバ共通の脅威、確認問題			3
	17	5-4ソーシャルエンジニアリングの脅威、確認問題			3
	18	5-5Webシステムに対する脅威、確認問題			3
	19	5-6無線に対する脅威、確認問題			3
	20	5-7ストレージに対する脅威、確認問題			3
	21	5-8仮想化とクラウド、確認問題、章末問題			3
	22	6-1ホストセキュリティの詳細、確認問題			3
	23	6-2ホストやアプリケーション脆弱性の克服、確認問題			3
	24	6-3モバイルセキュリティ、確認問題、章末問題			3
	25	7-1情報セキュリティ対策の計画、章末問題			3
	26	7-2情報セキュリティ対策の構築、章末問題			3
	27	7-3情報セキュリティ対策の運用、章末問題			3
	28	7-4事業継続、章末問題			3
	29	理解度確認試験対策			17
	30	理解度確認試験実施			2
	合計時間数				105
教科書	実務に役立つ情報セキュリティの基礎				
時間外学習					
成績評価方法	理解度確認試験対策 100pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 2 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・3年	授業方法	演習・講義	講義時期	通年
授業科目	就職リテラシー(SPI)	担当者	佐久本 世津	科目必修区分	必修
授業概要	就職試験における代表的な試験であるSPI、CAB、GABについて対策を行い就職試験合格を目的とする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SPI・CAB・GAB試験の内容が理解できる</li> <li>・問題の意味を理解し、効率的に問題を解くことができる</li> <li>・選考試験(SPI、Webテストなど)を通過できる</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	導入イントロ(授業の目的・カリキュラム説明)			1
	2	非言語問題:推論、図表の読み取り、集合、順列組み合わせ			5
	3	非言語問題:確率、料金の割引、損益算、分割払い、仕事算			4
	4	非言語問題:速さ、割合・比、代金の精算			5
	5	言語問題:二語言語、熟語の意味、熟語の成り立ち			3
	6	言語問題:語句の用法、文の並び替え、空欄補充、長文読解			3
	7	性格検査説明:パースファインダー			1
	8	CAB対応:暗算、法則性、命令表、暗号、性格			3
	9	GAB及びGAB Compact対応:言語、計数、性格			3
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	合計時間数				28
教科書	これが本当のSPI3だ！2021年度版 CAB・GAB完全突破法！2021年度版				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題や演習問題				
	採用試験に向けての自主学習				
成績評価方法	単元テスト30pt 評価テスト30pt レポート20pt 授業態度20pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				

## シラバス

令和 2 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・3年	授業方法	演習・講義	講義時期	通年
授業科目	文章読解	担当者	佐久本 世津、他	科目必修区分	必修
授業概要	新聞などを活用し、文章を読み解き、意見を述べる演習を実施する。				
到達目標	新聞記事を効率よく読み解くことができる。 記事に自身の考えを加えたスクラップブックを作成できる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	新聞の読み方			2
	2	記事検索・課題作成①			1
	3	記事検索・課題作成②			1
	4	記事検索・課題作成③			1
	5	記事検索・課題作成④			1
	6	記事検索・課題作成⑤			1
	7	記事検索・課題作成⑥			1
	8	記事検索・課題作成⑦			1
	9	記事検索・課題作成⑧			1
	10	記事内容ディスカッション・発表資料作成			4
	11	グループ発表			4
	12	記事検索・課題作成⑨			1
	13	記事検索・課題作成⑩			1
	14	記事検索・課題作成⑪			1
	15	記事検索・課題作成⑫			1
	16	記事検索・課題作成⑬			1
	17	記事内容ディスカッション・発表資料作成			4
	18	グループ発表			4
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
25					
	合計時間数				31
教科書	日経流通新聞(MJ)電子版				
時間外学習	授業外でも電子版を使用して情報収集して下さい。				
成績評価方法	授業態度20pt 毎回の提出課題60pt グループ発表20pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 2 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・3年	授業方法	演習・講義	講義時期	通年
授業科目	就職実務	担当者	佐久本 世津	科目必修区分	必修
授業概要	企業から内定を獲得するために、履歴書のブラッシュアップ、自己PRや志望動機などの内容強化、面接練習を行う。 社会人になる前にやっておくべきことを認識し、実際に行動に移せるようにする。				
到達目標	1. 企業内定を獲得する 2. 社会人になるまでにやっておくべきことを理解し、行動に移すことができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目の目的などの説明 (履修に対する動機づけ)			1
	2	未内定者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・履歴書のブラッシュアップと作成</li> <li>・自己PRの内容強化</li> <li>・志望動機の内容確認</li> <li>・面接の練習</li> <li>・就職試験受験後の反省と改善</li> </ul> 内定者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人になるまでにやっておくべきことの確認 (外部イベントへの参加、新聞などでの情報収集、読書など)</li> <li>・内定職種に必要な資格取得のための計画の立案と実施</li> </ul>			53
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	合計時間数				54
教科書	KBC学園 就職活動の進め方				
時間外 学習	採用試験準備(履歴書作成、面接練習)				
	採用試験受検(筆記、webテスト、面接)				
成績評価 方法	履歴書完成度20pt 面接テスト20pt レポート20pt 報告書提出20pt 授業態度20pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 2 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・3年	授業方法	演習、講義	講義時期	通年
授業科目	総合学習	担当者	佐久本 世津、他	科目必修区分	必修
授業概要	「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。				
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【オリエンテーション】 目標設定、科目説明、ガイダンスなど			65
	2	【親睦会】 全学生の全体スポーツ大会			6
	3	【ビーチパーティ】 全学生のビーチパーティ			6
	4	【国家試験合格者発表会(春期・秋期)】 国家試験合格者を表彰する			6
	5	【卒業研究発表会・展示会】 卒業生が制作した研究発表会に参加し、展示会でシステムに触れてみる。			6
	6	【卒業生送別会】 学科ごとの卒業生に感謝の気持ちを込めて、内外でイベントを実施する			6
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	合計時間数				95
教科書	KBC学園 志学 I・II				
時間外 学習	各授業・行事においての事前準備や調べ学習を指示。前後の各実施委員会活動				
成績評価 方法	授業態度30pt、毎回の授業レポート70pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・4年	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	システム構築技術 I	担当者	山川明美	科目必修区分	必修
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LinuC101試験に必要なLinuxの知識・実技を身につける。</li> <li>・Linuxの使い方を身に付け、将来の仕事の範囲を広げる。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LinuC101試験に合格するための知識・実技を身につける。</li> <li>・Webサイト構築・運用のスキルを身に付け、できる仕事の範囲を広げる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業の趣旨説明、実習環境準備			2
	2	第2章 ファイルディレクトリの操作と管理 2.1-2.4			16
	3	第3章 GnuとUnixのコマンド 3.1-3.5			20
	4	第4章 リポジトリとパッケージ管理 4.1-4.4			16
	5	第5章 ハードウェア、ディスク、パーティション、ファイルシステム			12
	6	第1章 Linuxのインストールとかさそうマシン・コンテナの利用			20
	7	第6章 模擬試験			8
	8	成績評価			2
	9				
	10				
	合計時間数				80
教科書	LinuC レベル1 ver10.0対応				
時間外学習	なし。				
成績評価 方法	成績評価試験				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介	1983.4～1991.12 富士通(東京)勤務、ソフトウェア開発従事				

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・4年	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	システム構築技術Ⅱ	担当者	山川 明美	科目必修区分	必修
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LinuC102試験に必要なLinuxの知識・実技を身につける。</li> <li>・Linuxの使い方を身に付け、将来の仕事の範囲を広げる。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LinuC102試験に合格するための知識・実技を身につける。</li> <li>・Webサイト構築・運用のスキルを身に付け、できる仕事の範囲を広げる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第7章 シェルとスクリプト 7.1-7.2			8
	2	第8章 ネットワークの基礎 8.1-8.4			16
	3	第9章 システム管理 9.1-9.3			12
	4	第10章 必須システムサービス 10.1-10.4			16
	5	第11章 セキュリティ 11.1-11.5			20
	6	第12章 オープンソースの文化 12.1-12.2			4
	7	第13章 模擬試験			2
	8	成績評価			2
	9				
	10				
	合計時間数				80
教科書	LinuC レベル1 ver10.0対応				
時間外学習	なし。				
成績評価 方法	成績評価試験				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介	1983.4～1991.12 富士通(東京)勤務、ソフトウェア開発従事				



## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・4年	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	就職実務	担当者	佐久本 世津	科目必修区分	必修
授業概要	企業から内定を獲得するために、履歴書のブラッシュアップ、自己PRや志望動機などの内容強化、面接練習を行う。 社会人になる前にやっておくべきことを認識し、実際に行動に移せるようにする。				
到達目標	1. 企業内定を獲得する 2. 社会人になるまでにやっておくべきことを理解し、行動に移すことができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目の目的などの説明 (履修に対する動機づけ)			1
	2	未内定者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・履歴書のブラッシュアップと作成</li> <li>・自己PRの内容強化</li> <li>・志望動機の内容確認</li> <li>・面接の練習</li> <li>・就職試験受験後の反省と改善</li> </ul> 内定者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人になるまでにやっておくべきことの確認 (外部イベントへの参加、新聞などでの情報収集、読書など)</li> <li>・内定職種に必要な資格取得のための計画の立案と実施</li> </ul>			37
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	合計時間数				38
教科書	KBC学園 就職活動の進め方				
時間外 学習	採用試験準備(履歴書作成、面接練習)				
	採用試験受検(筆記、webテスト、面接)				
成績評価 方法	履歴書完成度20pt 面接テスト20pt レポート20pt 報告書提出20pt 授業態度20pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報ライセンス科(4年制)・4年	授業方法	演習、講義	講義時期	通年
授業科目	総合学習	担当者	佐久本 世津、他	科目必修区分	必修
授業概要	「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。				
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【オリエンテーション】 目標設定、科目説明、ガイダンスなど			10
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	合計時間数				10
教科書	KBC学園 志学 I・II				
時間外学習	各授業・行事における事前準備や調べ学習を指示。前後の各実施委員会活動				
成績評価方法	授業態度30pt、毎回の授業レポート70pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					